

事項	りんごの摘果剤NAC水和剤(マイクロデナポン水和剤85)は、「早生ふじ」には使用できるが、「北紅」には使用しない		
ねらい	マイクロデナポン水和剤85を摘果剤として使用する場合、品種によっては落ちすぎるので、品種ごとに使用方法を提示する必要がある。今回、「早生ふじ」と「北紅」に対する散布の影響を明らかにしたので参考に供する。		
指導参考内容	<p>1 「早生ふじ」に対する摘果効果 「ふじ」の満開後2週間ころの散布で、摘果効果が認められ、系統間でも差が見られないため、マイクロデナポン水和剤85は摘果剤として使用できる。</p> <p>2 「北紅」に対する影響 「ふじ」の満開後2週間ころ及び満開後3週間ころの散布のいずれにおいても、側果、中心果ともに激しく落果するため、マイクロデナポン水和剤85は摘果剤として使用しない。また、他の品種に散布する場合には「北紅」にかからないように注意する。</p>		
期待される効果	<p>1 摘果剤の適切な使用ができる。</p> <p>2 「早生ふじ」では摘果剤散布による摘果の省力化が期待できる。</p>		
利用上の注意事項	<p>1 本資料は平成21年3月2日現在の農薬登録に基づいて作成した。</p> <p>2 農薬を使用する場合は、必ず最新の「農薬登録情報」(<a href="http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/">http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/</a>)を確認すること。</p> <p>3 年によって効果の発現が遅れたり、不十分な場合もあるので、仕上げ摘果は遅れないようにする。</p>		
担当部署(担当者名)	青森県農林総合研究センターりんご試験場 育種部 (工藤 剛、深澤(赤田)朝子、今 智之)	対象地域	県下全域
発表文献等	平成19～20年度 青森県農林総合研究センターりんご試験場試験研究成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「早生ふじ」に対するマイクロデナポン水和剤85の摘果効果 (平成18～20年 青森農林総研りんご試)

試験年	品種名	区	調査果	1果そう別平均結実数				累積落果率 (%)
				6/6	6/12	6/21	7/3	
平18年	ひろさきふじ	処 理	側 果	3.7	2.8	0.8	0.5	86
			中心果	1.0	1.0	1.0	1.0	0
	昂林	処 理	側 果	4.4	1.4	0.3	0.1	98
			中心果	1.0	0.9	0.9	0.9	10
ひろさきふじ	無処理	側 果	3.6	2.5	1.4	1.2	67	
		中心果	1.0	1.0	1.0	1.0	0	
ふじ(対照)	処 理	側 果	4.4	3.7	1.3	0.8	82	
		中心果	1.0	1.0	1.0	0.9	10	
平19年				5/30	6/11	6/20	6/29	
	ひろさきふじ	処 理	側 果	4.1	2.3	0.9	0.9	78
			中心果	1.0	1.0	1.0	1.0	0
	ひろさきふじ	無処理	側 果	4.1	2.4	1.6	1.6	61
中心果			1.0	1.0	1.0	1.0	0	
ふじ(対照)	処 理	側 果	4.2	3.5	2.6	1.5	64	
		中心果	1.0	1.0	1.0	0.9	10	
平20年				5/19	5/30	6/9	6/19	
	昂林	処 理	側 果	3.9	3.4	1.3	0.3	92
			中心果	1.0	1.0	1.0	1.0	0
	ひろさきふじ	無処理	側 果	3.8	3.7	2.8	2.5	34
中心果			1.0	1.0	1.0	1.0	0	
ふじ(対照)	処 理	側 果	4.0	1.8	1.2	0.1	98	
		中心果	1.0	1.0	0.9	0.7	30	

- (注) 1 供試樹：3品種とも12年生M.26EMLA台樹  
 2 調査数：1樹当たり頂芽30果そう  
 3 散布時期：「ふじ」の満開後2週間ころ(展着剤マイリノー加用)  
 4 平成20年処理時の中心果の横径：「ふじ」が8.9mm、「早生ふじ」が9.6mm

表2 「北紅」に対するマイクロデナポン水和剤85の影響 (平成17、19～20年 青森農林総研りんご試)

試験年	区	調査果	1果そう別平均結実数				累積落果率 (%)	備考
			6/3	6/14	6/21	6/30		
平17	処 理	側 果	4.8	4.1	0.3	0.1	98	ふじ高接
		中心果	1.0	1.0	0.3	0.2	80	
	無処理	側 果	4.4	4.2	0.9	0.6	86	ふじ高接
		中心果	1.0	1.0	0.7	0.5	50	
平19			5/30	6/11	6/20	6/29		
	処 理	側 果	4.6	3.6	0.6	0.3	93	苗木
		中心果	1.0	1.0	0.6	0.6	40	
	無処理	側 果	4.6	4.1	2.2	1.7	63	苗木
中心果		1.0	1.0	0.9	0.9	10		
処 理	側 果	4.4	3.4	0.1	0	100	ふじ高接	
	中心果	1.0	1.0	0.2	0.2	80		
無処理	側 果	4.5	4.5	3.5	2.7	40	ふじ高接	
	中心果	1.0	1.0	1.0	1.0	0		
平20			5/27	6/6	6/16	6/26		
	処 理	側 果	4.2	1.6	0.5	0.4	90	ふじ高接
		中心果	1.0	0.8	0.6	0.5	50	
	無処理	側 果	4.3	3.8	1.8	1.7	60	ふじ高接
中心果		1.0	1.0	0.9	0.9	10		

- (注) 1 「ふじ」高接樹：M.26、高接ぎ9年目(平20)、苗木：11年生(H20)の「青台3台」樹  
 2 調査数：1樹当たり頂芽30果そう  
 3 散布時期：平成17、19年；「ふじ」の満開後2週間ころ、平成20年；同満開後3週間ころ  
 (いずれも展着剤マイリノー加用)  
 4 平成20年処理時の中心果の横径：13.7mm(平成20年)